

税務調査でパソコン記帳の努力が納得いく結果に！

コロナ禍で数が減っていた税務調査が増え始めています。

建設業のYさんは、会計ソフトで自主記帳を行い青色申告控除をとっています。

5月上旬に電話で税務調査の事前通知を受け、Yさんはすぐに民商に連絡して事前の対策会議を行ないました。仕事の都合もあって調査日は6月上旬に延ばしました。

第1回の調査日、自宅で事務局員と共に税務署員を待ちました。事前に2人と聞いていたのですが、この日は若い調査官が1人で来訪しました。

署員は最初に立会人の退席を求めましたが、事務局員はふすま越しに立ち会いました。

第2回は7月下旬になり、この日は2人の税務署員が来ました。前回と同じく事務局員が隣室に待機し、主に2年前・3年前の資料を確認していきました。

9月に入り、調査結果の通知が電話で行われました。

所得税は過去3年の水道光熱費の一部が生活費分として否認、消費税（簡易計算）は令和1・2年分は是認、令和3年分は12月21日以降の売上を加算修正し、3年間で約25万円の追徴課税で済みました。

民商でパソコン記帳を学び、自主計算自主申告を行ってきた成果です。



尾北民商ニュース

2022年
10月10日号
TEL 0587-54-0524
FAX 0587-54-1390

尾北地域で頑張る業者さん

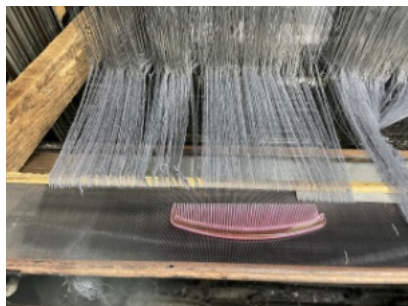
小栗毛織
小栗さんご夫婦



江南市で30才から仕事を始めて早??年、フォーマルカジュアルの洋服の生地サンプルを作っています。

依頼を受けて作るサンプル生地のはきは、幅150cm、長さ12m。洋服のジャケットとスカートなどのサンプルを作るためにはこの位の生地が必要だそうです。

(写真左上) 整経機 たて糸を並べる機械です。この時に生地のはき、たて糸の密度が決まるそうです。



(写真左下) 前準備のおさしと言われた工程です。くしより細かい所に一本一本手作業でされています。4000本の糸をさす作業は4時間ほどかかるそうです。

とても細かい前準備を経て機械が動きだします。織機で織り始めて約4時間で依頼を受けた生地ができあがるそうです。洋服の一番最初のサンプル生地が生まれる場所、貴重なお仕事です。



とても気さくな
小栗さんご夫婦です。

取引先からの要請でインボイス登録が必要な人は

インボイス登録をして番号を提供するよう取引先から要請されたという相談が増えています。

税務署へのインボイス登録の申請書は、国税庁ホームページで「適格請求書発行事業者の登録申請手続」で検索すれば入手できます。

申請に問題がなければ1ヶ月ほどで、税務署からインボイス番号の通知が郵送されてきます。

インターネットや印刷の環境がない人、手続きに迷っている人は民商にご相談ください。

一方、あなたが消費税の本則課税業者の場合、仕

入・外注先に免税業者がいると、相手がインボイス登録をしなければ来年10月以降分の、あなたの納める消費税が跳ね上がることになります。

民商は、売上1000万円以下の小規模業者・フリーランスの営業・生活を続けられなくするインボイスの導入に反対しています。

